

江別商工会議所 ななかまど通信

能登半島地震義援金 受入準備をしています

今回の能登半島地震により被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。
全国の商工会議所では、被災地の一日も早い復興を願い義援金活動を行います。
現在、義援金の受入準備を進めており、準備が整い次第、ご案内をさせていただきますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

◎義援金寄贈先 被災した商工会議所ならびに商工会議所連合会に寄贈

◎義援金の使途
・被災事業者の事業再開
・被災商工会議所の再建
・観光回復等に係る事業

◎振込先 後日、ご案内させていただきます

◎口座開設期間 1月下旬～2月中旬を予定

日商景気観測調査 12月調査結果

業況DIは、7か月ぶりに改善も、物価高の重荷続く

先行きは、国内需要の伸び悩み懸念から厳しい見方

日本商工会議所が発表した12月の全産業合計の業況DIは▲8.4と前月から1.3ポイントの改善。製造業では、自動車関係や飲食品関係の需要増がけん引し、改善した。また、サービス業では、経済活動の回復に伴い、忘年会等の年末需要が増加した飲食・宿泊業を中心に改善し、卸売業でも、飲食・宿泊業からの引き合い増加で改善した。一方、建設業では、公共工事の受注が下支えする中、資材価格の高止まりでほぼ横ばいにとどまり、小売業では、物価高による消費者の買い控えの影響で悪化が続いている。

エネルギー価格の高騰や人手不足に伴う人件費の増加等、コスト増は業種を問わず続いている。また、深刻な人手不足や適正な価格転嫁への対応等、経営課題は多く中小企業の業況は7か月ぶりに改善を示すも、力強さを欠いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲14.3（今月比▲5.9ポイント）へ悪化。

年始の初売りや次年度に向けた準備等、個人消費や設備投資の拡大に向けた契機がうかがえるものの、長引く物価高による買い控えやコスト増に伴う企業収益の圧迫により、全産業で悪化が見込まれている。また、国内需要が力強さを欠く中、深刻な人手不足や価格転嫁への対応等、企業経営の足かせは多い。加えて、欧州・中国等の海外経済の不安定さも重なり、先行きは厳しい見方が続いている。

ブロック別では、北海道地区が ▲1.6 と、前月から 10.4 ポイント改善。

建設業では、北海道新幹線の延伸工事において、中断していたトンネルの掘削工事が約2年5か月ぶりに再開されるなど、公共工事の受注が増加傾向にあり、売上・採算が改善した。製造業でも、同工事に伴い受注が増加した鉄鋼関係や、国内旅行客・インバウンド需要の増加により飲食・宿泊業からの受注が増加した飲食品関係を中心に売上・採算が改善した。

※全国 328 商工会議所が 2,470 企業にヒアリングを実施